

## 岩美町特産品かわら版 (第六号)



イメージキャラクター  
「まこもっちゃん」

ただ今、岩美町の様々な特産品を知っていただこうと  
岩美町特産品かわら版を展示しております。

第一弾は、岩美町が平成十五年度より特産品として取り  
組んでいる「マコモタケ」についてご紹介しています。  
(同時に前の樽の中でマコモタケの試験栽培を行なってい  
ますので、合わせてご覧下さい。)

さて、第六回目の今回は岩美町におけるマコモタケの歴史  
についてお話しいたします。

— 今から四年前 (平成一六年) —

当時、岩美町では生産調整のため様々な転作作物を奨励し  
ておりましたが、水田は思いのほか水分が多く、作物を作っ  
ても水害で枯れてしまい農家の方は困り果て、休耕田も増加  
をしておりました。そこで当時の普及所より提案があり、湿  
田でも作れる作物《マコモタケ》が発案されました。

しかし、当時マコモタケを栽培している場所は国内でも少  
なく、農協と役場の担当者は遙か長野県まで株を購入するた  
め夜を徹して走りました。その旅路は険しく、しかし、希望  
に満ちたものだったと当時の担当者は語ります。

そして、苦難の末、岩美町にもたらされたマコモタケの株  
はコンテ十個分でした。始めは一農家七aの水田から作付  
を行い、手探りの栽培が始まりました。

それから早四年の月日が過ぎ、今ではマコモタケの作付は  
六〇a、収穫量もかなりの量を誇ります。

これからまだまだ新たな可能性を秘めているマコモタケ。  
いつか立派な特産品として岩美町から全国に発進できるよう  
成長を続けていきます。

★次回はいよいよマコモタケ最終回。今年のマコモタケ  
とこれからのマコモタケについてお話しします。